

茨木高校野球部

OB会報

発行
大阪府立茨木高校
野球部OB会

「弥栄 茨高野球部！」

高31回 泉谷 直樹



新緑の候、OBの皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

高校31回主将の泉谷と申します。昨年夏はベスト4以来34年ぶりのベスト16進出ということで大いに盛り上がりましたが、我々はそのベスト4の翌春、未だその余韻が残る中、入部した学年になります。OB会も前年の快進撃を機に組織を整備され、物心両面での厚いご支援をいただき本当に恵まれた環境の中で野球をすることが出来ました。

そんな現役時代から32年が過ぎて、今回原稿執筆の依頼をいただき、毎年先輩方が寄稿された会報を読んでいた自分もそんな年齢になったのかと改めて時の流れの早さに驚いています。さて我々の現役時代ですが、高校2

年の夏の大会が終り新チームとしてスタートしたものの、公式戦の試合経験者はほとんどおらず試合をするのも大変な状態でした。引き続き監督として我々を率いていただいた阪脇先輩もさぞかし頭を悩ませられたことと思います。

投手は阪下君と福田君の二人。両君とも球威はありましたがお世辞にもコントロールは良いとは言えず、また捕手の私を始めメンバーの経験不足もあって中々思うような結果が出ず、結局秋の大会は2戦目、春の大会は初戦と共に大差で破れ、夏の大会前は余り自信の持てない状況でした。

そうして迎えた夏の大会、初戦は万博球場での清教学園戦でした。近年は予選がブロック別となり万博球場での試合が多く行われるようになりましたが、当時は少なく、幸運にも地元の球場での試合ということで多くの在校生が応援に来てくれてとても暗れがましい気分でした。そして大きな声援の中試合が始まったのですが、やはり夏の大会の雰囲気になれたのか初回に守備が乱れ先制を許すことに。

しかし先発の阪下君がその後別人の様に制球が良くなり零点に抑える

とチームの皆も次第に落ち着いてきて反撃、同点に追いつくと延長10回に挙4点を奪って初戦突破することが出来ました。この勝利は本当に嬉しくまた自信となりました。

次の試合は住之江球場での四条戦。このゲームは記憶にある方もいらっしゃるかもしれませんが、珍しく序盤から攻撃が繋がり、5回を終えて9-1。

応援席が「今日はゴールドゲームか」と思った矢先、やはり野球はそう甘くなく相手の主軸の連続本塁打などで追いつかれて、あれよあれよという間に2点差に。その後も最後まで点の取り合いとなり、結局15-12というまるでラグビーの試合のようなスコアでかろうじて逃げ切りました。暑い中始まった試合も終了時には日が暮れ、真つ暗な中で着替えとなりました。

スタンドで長時間応援いただいた先輩方には誠に申し訳ない試合で、「これでもし逆転負けしたら顔向けできひんなあ」と思いながら必死で守つていたことを覚えています。

そして2試合を経験し少しは自信もついてきた中、迎えた春日丘との4回戦。この試合は同じ市内、近隣で関係の深い2校の対戦ということで色々注目された試合でしたが、気持ちも少し空回りしたのか、攻守ともミスが多く2-1と一点差まで追いつけましたが9回にエラーもあり5点を失い敗れました。

私も終盤、好機にエンドランにもかからずショートゴロ併殺打としてしまい、悔しく本当に残念でした。しか

し2つの試合で勝利を掴み、4回戦まで進めたということは本当に良い思い出として残っています。

我々の学年には個人的に卓越した能力の者はおらず、大会前の期待は高くなかったと思いますが、1学年下の寺地君、幸田君、増田君らが攻守の重要なポジションで頑張ってくれ、又その他の下級生も一緒に皆で戦うチームだったと思います。

そんな我々を3年間にわたる監督として熱心に根気よく指導していただいた阪脇先輩、そして、練習や試合に来て下さり様々なことで面倒を見ていただいた多くの先輩の皆様には本当にお世話になりました。

昨年の夏の大会でも感じましたが、そうした歴代のOBと現役とが一体となったチーム作り、運営が「茨高野球部」の伝統であり強みであると思います。今後益々の「茨高野球部」の発展のため、私も微力ながらお手伝いが出来ればと思っています。

末筆ながらOB諸兄の今後益々のご活躍と現役諸君の活躍をお祈りいたします。ありがとうございます。

部長より

高21回 池水 徹



陽春の候、OBの皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。昨夏のベスト16を最後に、監督を勇退いたしました。定年は来春ですので、今年の夏まで監督を続けることは可能ですが、和田君が転勤してきてくれたので相談のうえ、昨夏の大会終了後監督を交代することを決めていました。OB会のご支援ならびに選手の間と和の協力によって、有終の美を飾ることができ、たいへんうれしく思っています。これまで監督としていたため、大阪府高野連の役員としての仕事を何かと抜けさせてもらっていましたが、副理事長という肩書きもついて、そういうことをやりにくい状況になってきていました。現在は連盟の仕事に精を出しています。

大阪府の教員には定年後も65才まで勤務する再任用という制度があり、それを希望する予定です。そのため来春の定年後もどこかの府立高校に勤務しますが、それがどこになるかはわかりません。茨木高校になる可能性が全くないわけはありませんが、どうなるかわからない状況です。定年までは期間、書類の作成や会計の処理等グラウンドでの選手の指導以外のことはすべて受け持っており、和田監督をサポートしたいと思っています。

